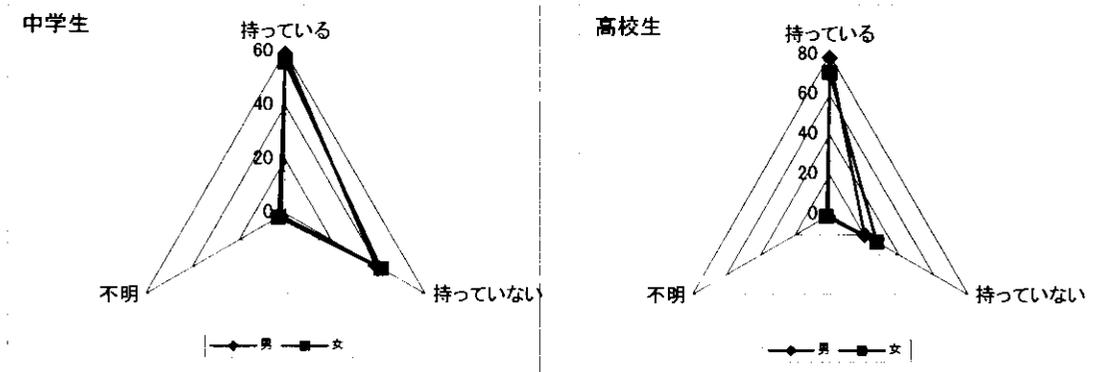


4. 自分だけの部屋

不明の 2.2%を除くと、「持っている」68.6%、「持っていない」31.4%であり、高校生のほうが自室を持っている割合が高かった。

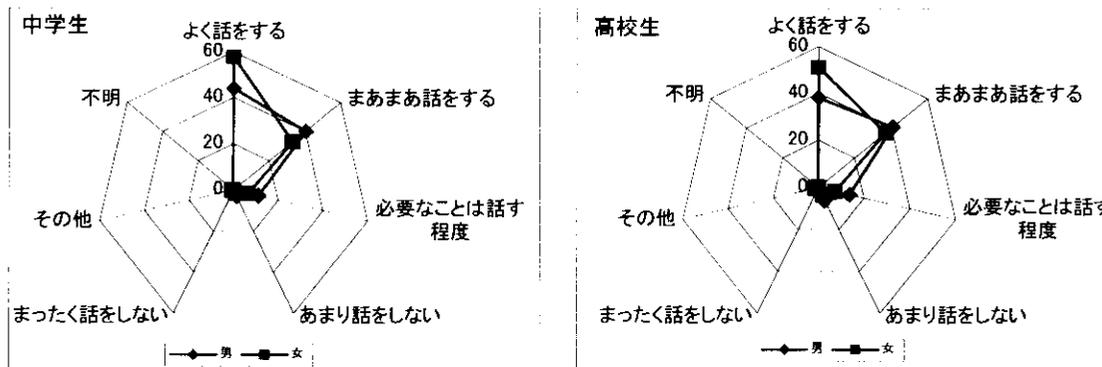
自分だけの部屋



5. 家族との会話

「よく話をする」46.1%、「まあまあ話をする」37.8%で、比較的家族とは話をしているという結果であった。一方、「必要なことは話す程度」が 10.1%で、「あまり話をしない」4.0%、「全く話をしない」0.8%であった。「よく話をする」は中学・高校とも女子が多かった。

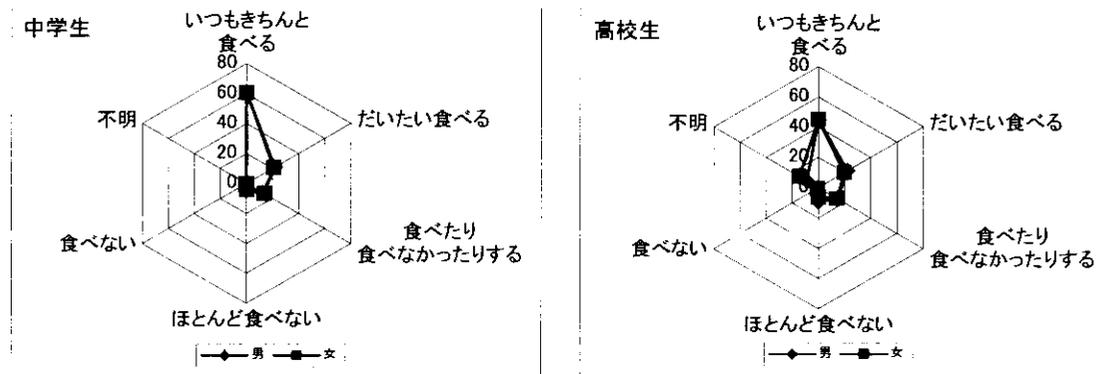
家族との会話



6-1. 朝食について

いつもきちんと食べるが最も多く 52.1%、大体食べるが 21.3%で合計4分の3程は食べているという結果だったが、食べたり食べなかったり 13.8%、食べない 6.4%で、これらは高校生により多い傾向がみられた。

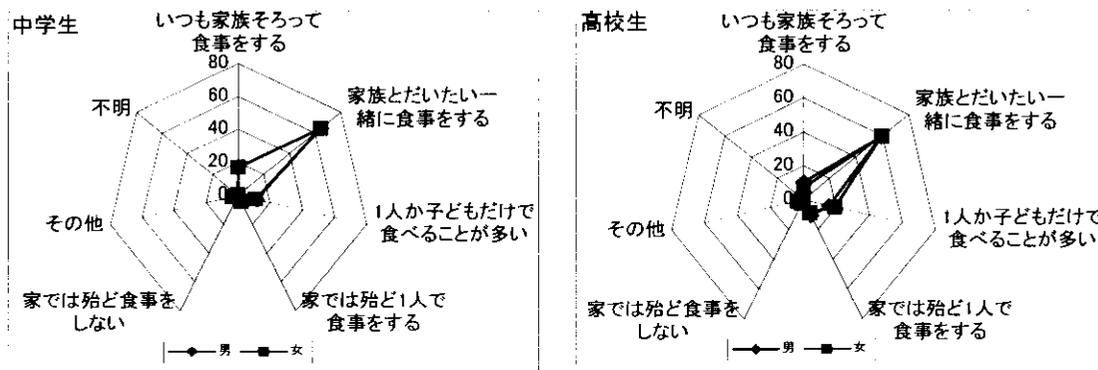
朝食について



6-2. 食事状況

食事状況では、家族揃って食事をするかどうか、また家で食事をするかどうかを尋ねた。その結果、「いつも家族揃って」は 12.8%、「大体一緒に食事をする」が 61.2%で合わせて4分の3を占めていたが、「1人か子どもだけで食べることが多い」というのも 14.2%みられ、「家では殆ど一人で食事をする」7.1%、「家では食事をしない」1.2%であった。また、家族と一緒に食事をしない傾向は高校生が顕著であったが、男女差はみられなかった。

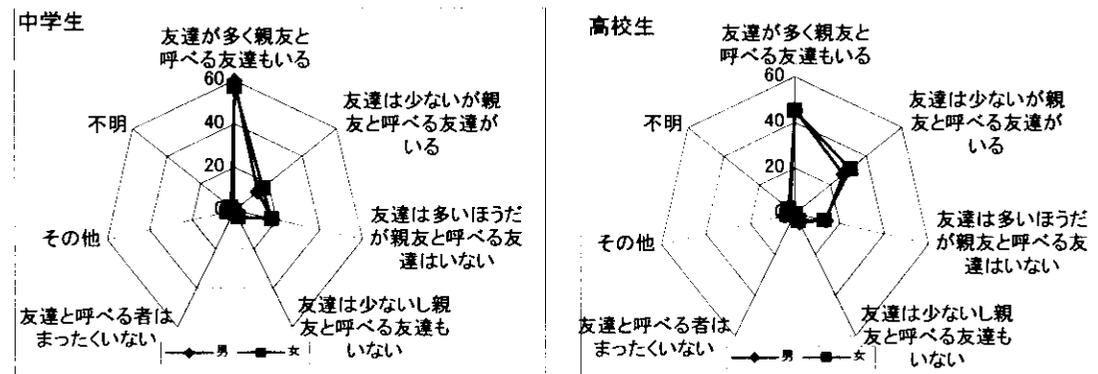
食事状況



7. 友達関係

全体では、「友達が多く親友と呼べる友達もいる」51.4%、「友達は少ないが、親友と呼べる友達もいる」22.0%であった。一方、「友達は多い方だが、親友と呼べる友達はいない」が15.4%、「友達は少ないし、親友と呼べる友達もない」が3.8%、「友達と呼べる者は全くいない」が0.8%だった。これについては、中学生と高校生で差がみられ、中学生は「友達が多く親友と呼べる友達もいる」が約60%と多いが、高校生では45%程度であり、逆に「友達は少ないが、親友と呼べる友達もいる」は中学生よりも高校生の方が多くなっていた。

友達関係



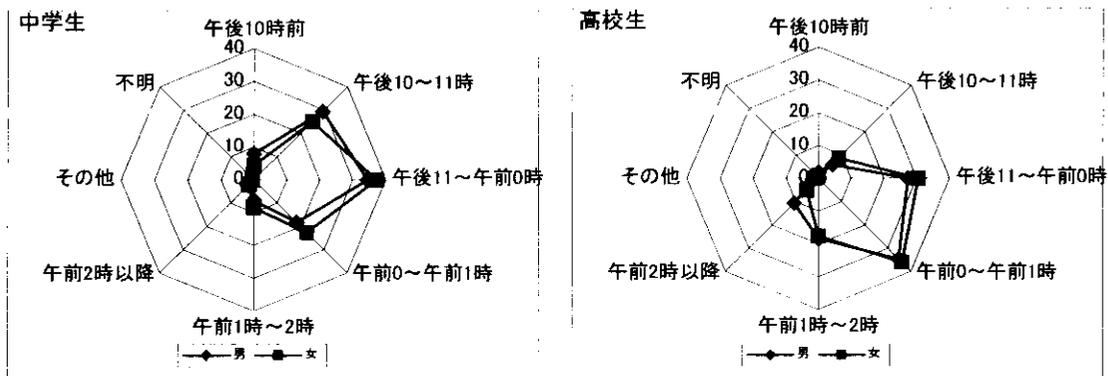
8. 睡眠について

(1) 就寝時刻と起床時刻

1) 平日の就寝時間

中学生と高校生では1時間ずれており、中学生では11～12時、高校生では12～午前1時が30%以上を占めていた。高校生では男子の方がより遅い傾向がみられた。

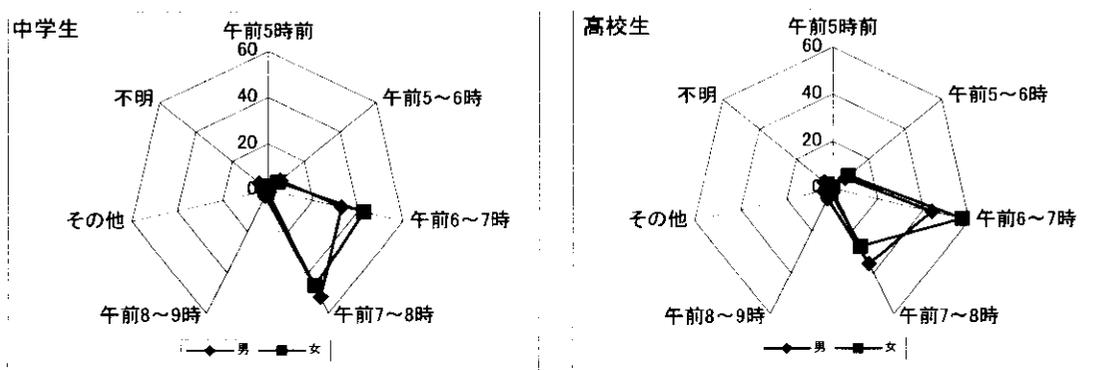
就寝時間



2) 平日の起床時間

中学生では7～8時、高校生では6～7時が多かった。どちらも女子の方がやや早い傾向がみられた。

平日起床時間

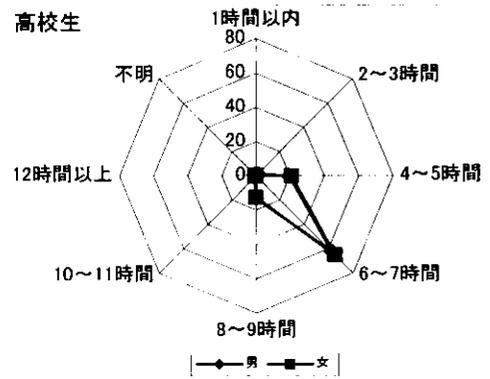
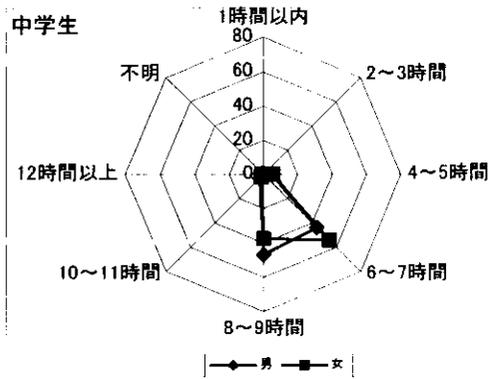


(2) 睡眠時間

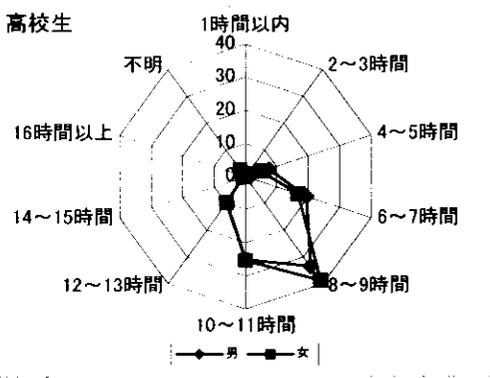
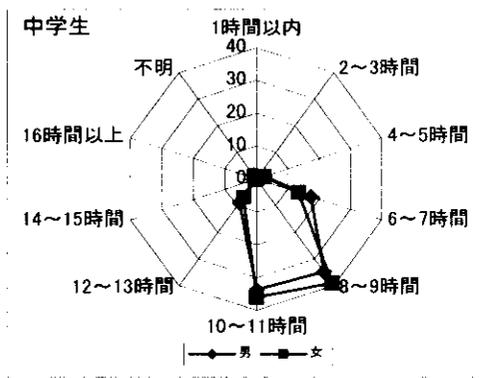
平日は、中学生では6～7時間、8～9時間が多く、男子は8～9時間が多かったが、高校生では、男女とも6～7時間が多く、中学生より睡眠時間が少なかった。

休日前は、8～9時間、10～11時間が多く、平日同様、中学生に長い傾向がみられた。

平日睡眠時間



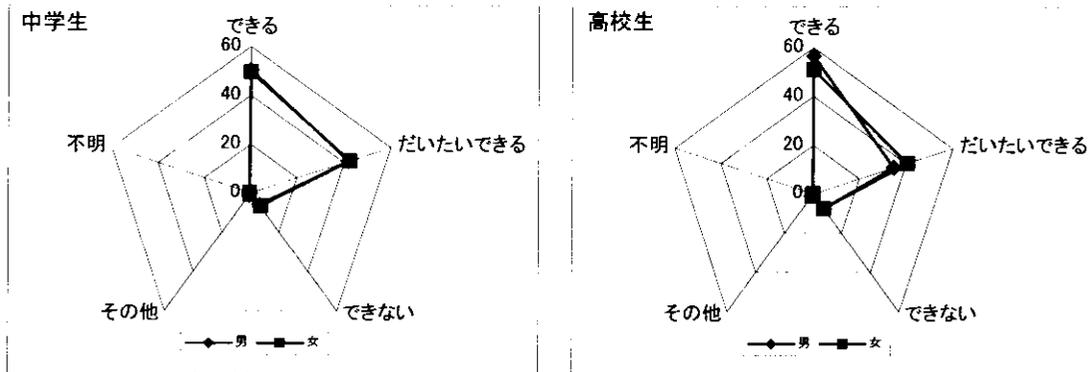
休日前夜睡眠時間



(3) 熟睡できますか

「できる」、「だいたいできる」が多かったが、「できない」も7%程みられた。

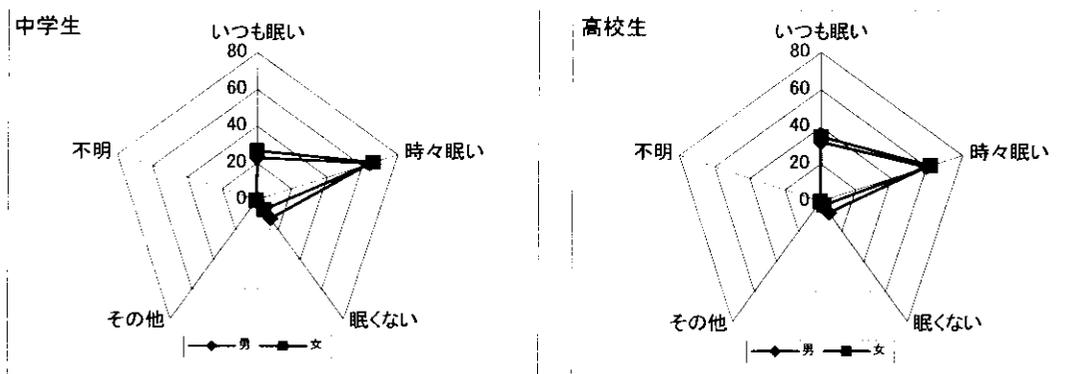
熟睡できますか



(4) 昼間、眠いですか

中学生、高校生とも「ときどき眠い」が60%強を占めていた。さらに高校生では「いつも眠い」が40%近くみられた。

昼間眠いですか



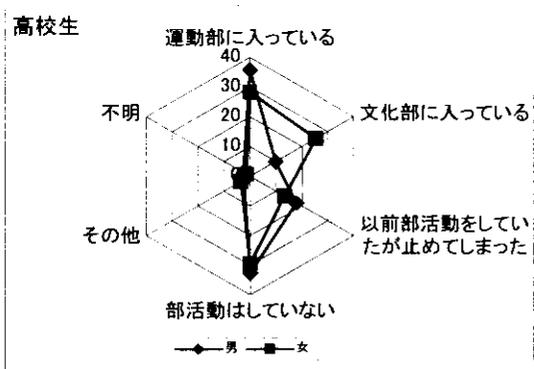
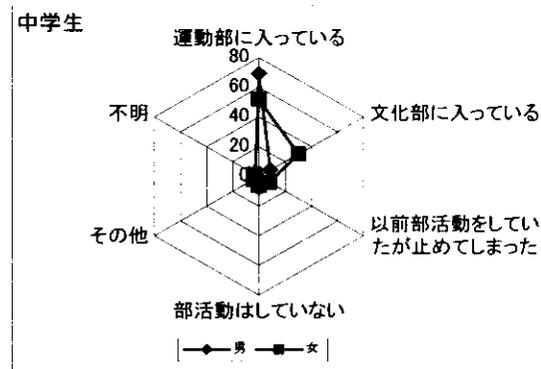
9. 部活動

(1) 部活動をしていますか

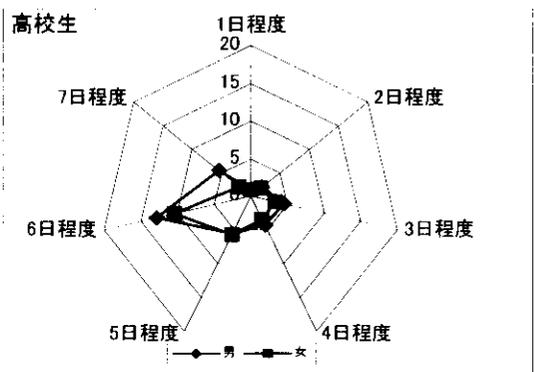
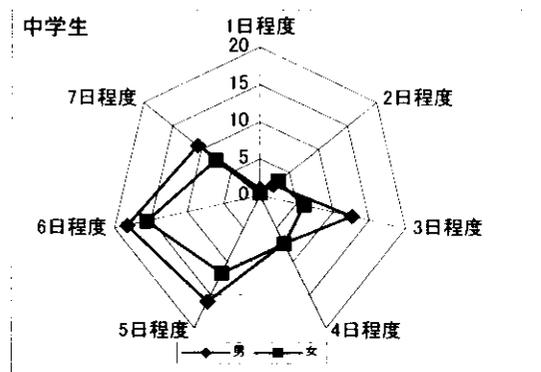
全体では「運動部に入っている」46.1%、「文化部に入っている」17.0%であったが、運動部に入っている割合は、中学生の方が高校生の2倍程度多かった。文化部は中学・高校とも女子が多かった。また、「以前部活動をしていたがやめてしまった」が12.2%、「部活動はしていない」が約20%であった。高校生では「部活動はしていない」「以前部活動をしていたがやめてしまった」が多くなっていた。

また、1日の時間数と週の活動日については、運動部は1日2～3時間程度が多く、週では6日、5日、7日が多かった。文化部では、1日2時間か3時間が多く、週単位では中学生は2日、4日、3日、5日などみられたが、高校生は1日～2日が多くなっていた。

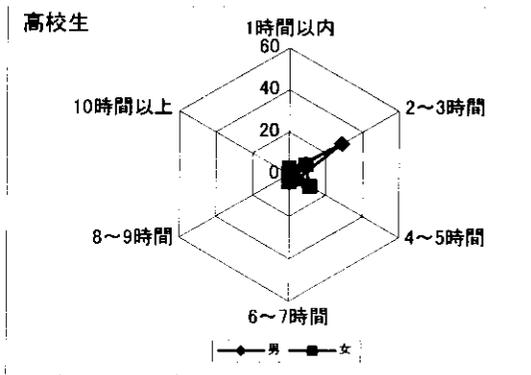
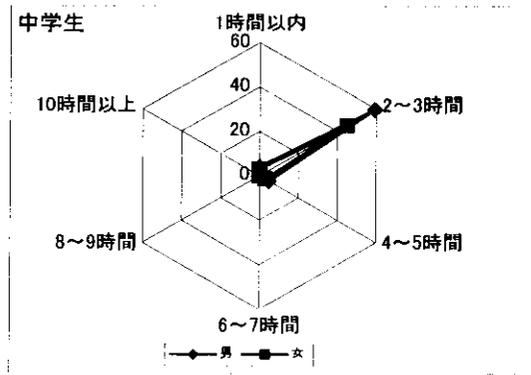
部活動をしていますか



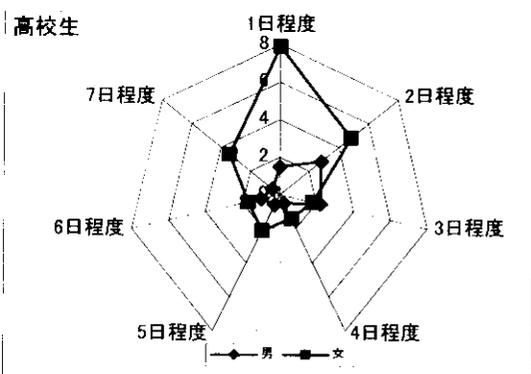
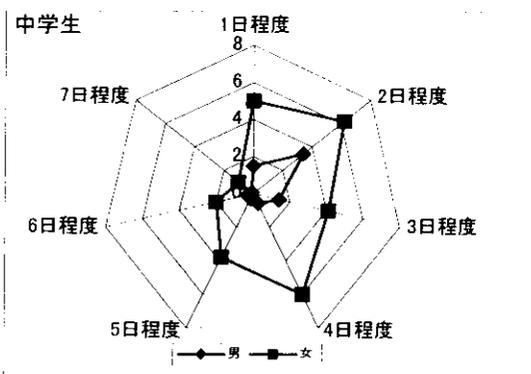
週の活動日数(運動部)



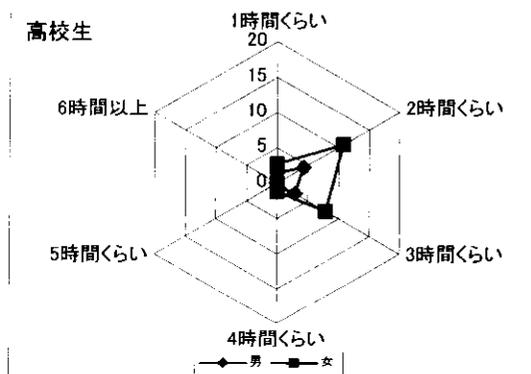
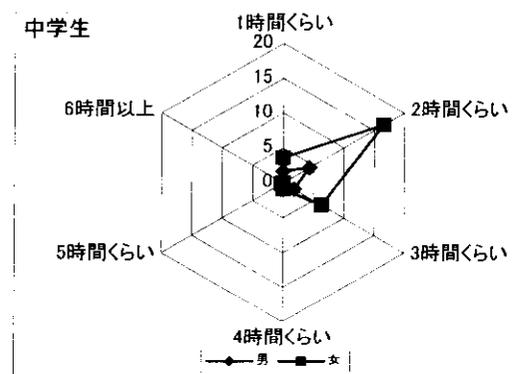
1日の活動時間(運動部)



週の活動日数(文化部)



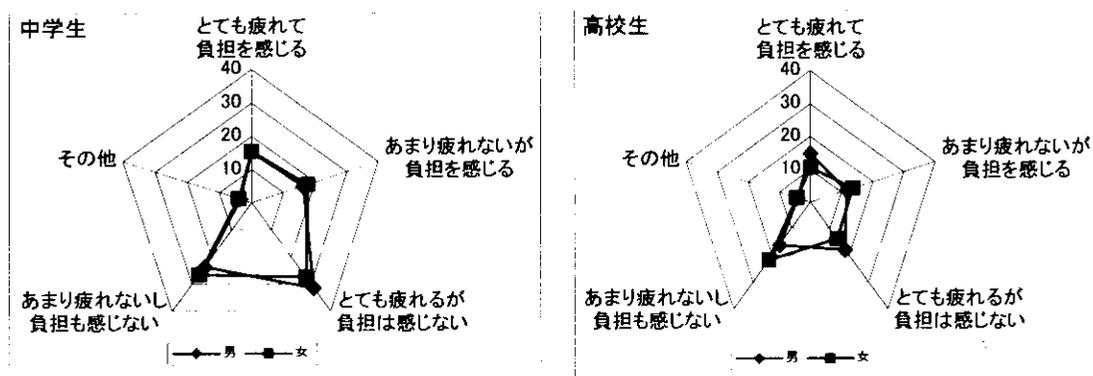
1日の活動時間(文化部)



(2) 部活動に疲れや負担を感じますか

「とても疲れて負担を感じる」や「あまり疲れないが負担を感じる」よりも「あまり疲れないし負担も感じない」や「とても疲れるが負担は感じない」の方が多かった。しかし疲労の有り無し双方の「負担を感じる」を合計すると37%となった。

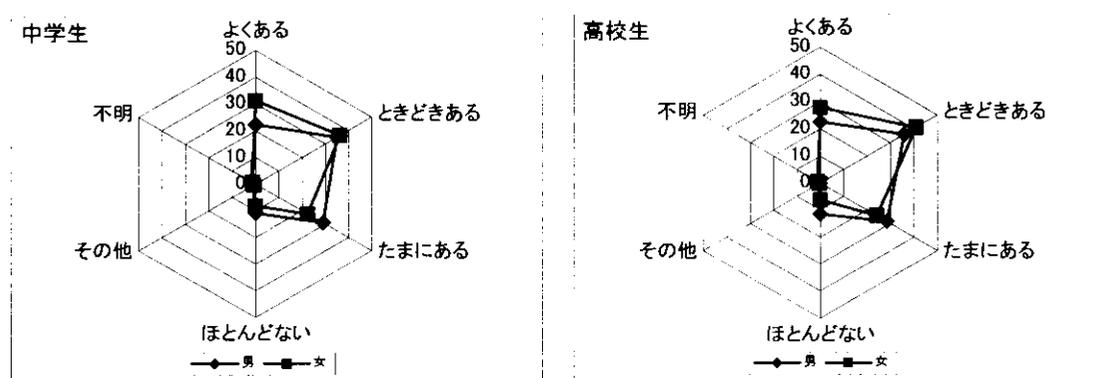
部活動に疲れや負担を感じますか



10. イライラすることがありますか

「ときどきある」が中学・高校生とも40%近くみられた。また、「よくある」「ときどきある」を合計すると60%強となり、「たまにある」も加えるとほぼ90%がイライラを経験し、「ほとんどない」は10%弱だった。「よくある」と答えたのは女子にやや多い傾向がみられた。

あなたはイライラする時がありますか

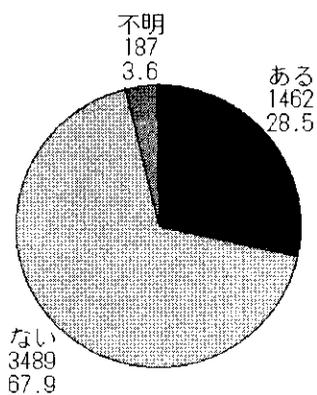


11. いじめ

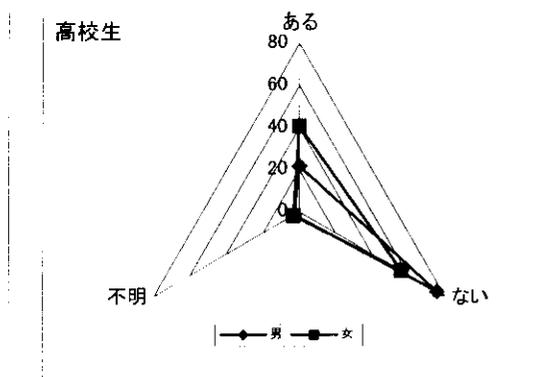
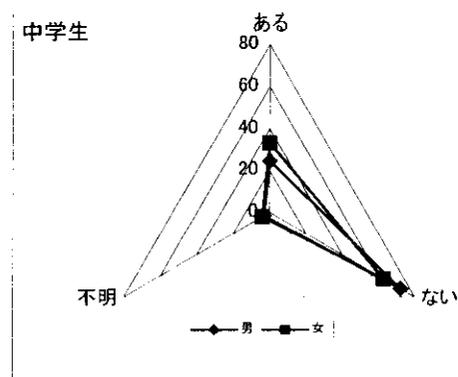
(1) いじめにあったと感じたことがありますか

「ある」は約 30%、「ない」は約 70%で、中学・高校生ともいじめにあったと感じている者は男子より女子の方が多かった。また、いじめにあったのは全体的には小学校時代が 7 割程度、中学校時代が 3 割程度だった。但し、高校女子では中学校時代と答えた者も多くなっていた。その他では「幼稚園」という記載が多かった。

問11-1いじめにあったと感じたことがありますか n = 5138



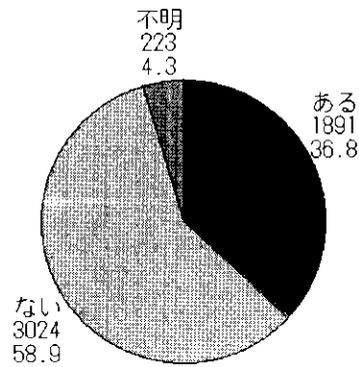
いじめにあったと感じた事がありますか



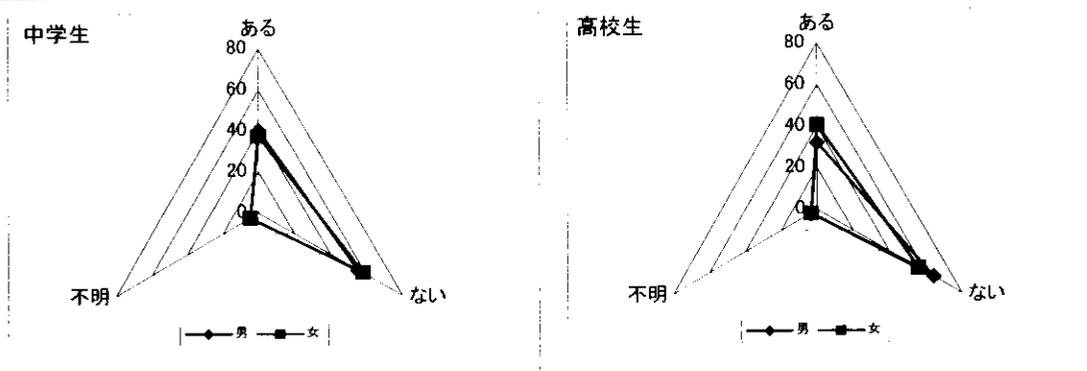
(2) 誰かをいじめたと思うことがありますか

「ある」が約4割、「ない」が約6割だった。それはいつ頃かの問いに対しては、「小学校時代」が70%、「中学校時代」が38%（複数回答）、高校時代が約4.2%、その他3.8%で、その他の中では幼稚園との記述が多かった。

問11-2特定の人をいじめたと思うことがありますか n = 5138



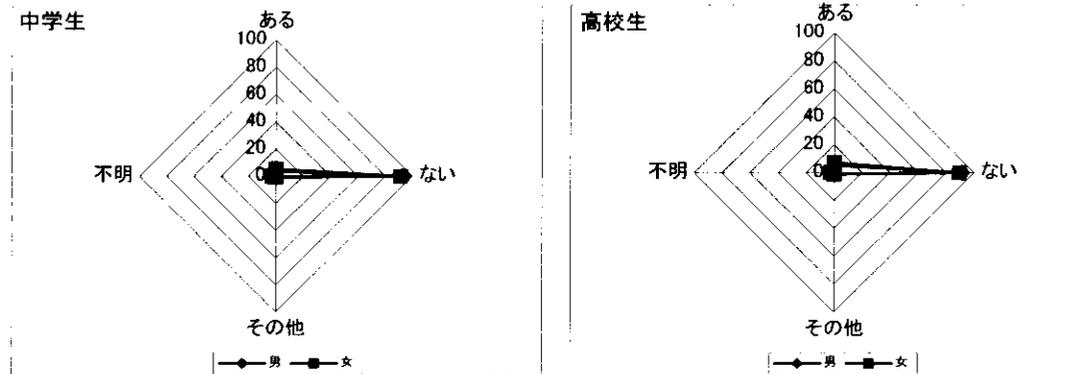
特定の人をいじめたと思うことがありますか



12. 不登校の経験がありますか

「ある」は約 5.4%、「ない」は 90%以上で、いつ頃かの問いには、小学校、中学校時代が約 50%、高校時代が 12.2%だった。「ある」と答えた 5.4%において、期間は1ヶ月未満が約 48%、1ヶ月以上3ヶ月未満が約 14%だったが、それ以上の期間もみられ、1年以上休んだと回答した者は 10%だった。その他 15%の期間は 1～3日で、不登校と扱われていない程度の日数だった。

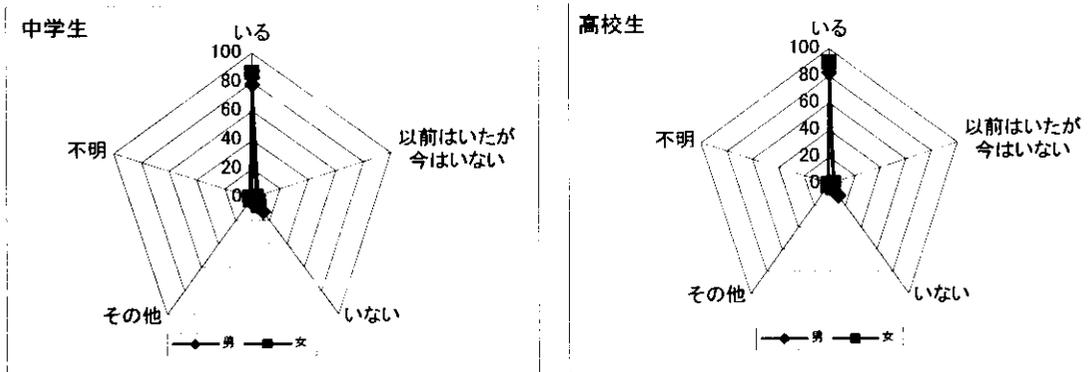
不登校の経験がありますか



13. 自分のことを話せる人が身近にいますか。

全体では、「いる」が85%、「いない」が約9%、「以前はいたが今はいない」が3.4%だった。「いる」と答えたのは女子の割合がやや高く、「いない」は男子がやや多かった。

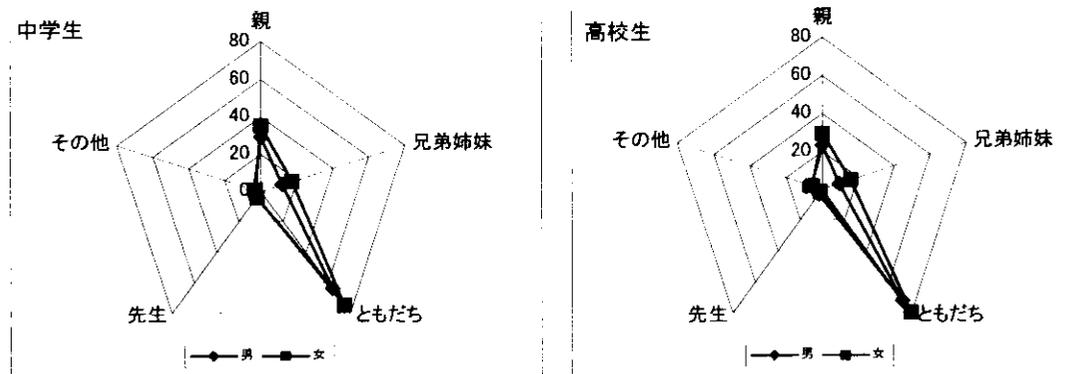
自分の事を話せる人が身近にいますか



14. それは誰ですか。

「ともだち」が最も多く、回答者の80%、次は「親」で32%、「兄弟姉妹」が14.4%、「先生」3.6%、その他で多い記述は「彼氏、彼女」であった。

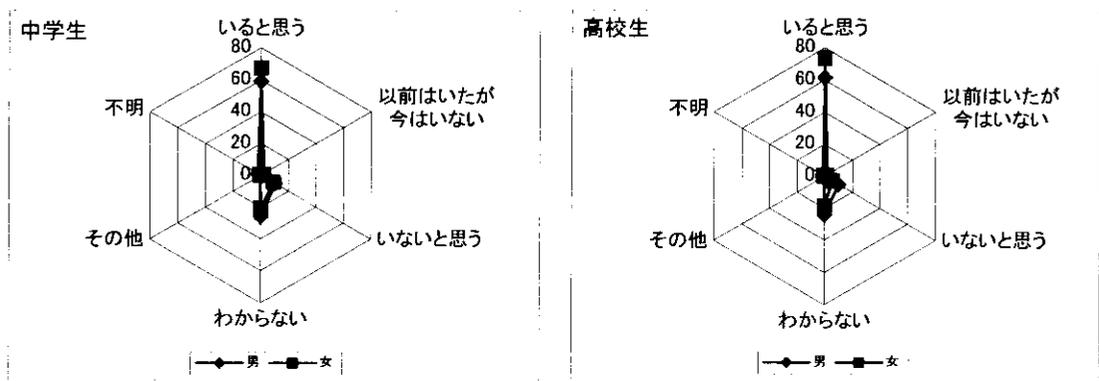
それは誰ですか



15. 自分のことを理解してくれる人がいると思いますか。

「いると思う」65%、「わからない」23%、「いないと思う」9%、「以前はいたが今はいない」が約2%だった。これは、自分のことを話せる人が身近にいるという答えが85%であったのに比べて低くなっていた。また、「いると思う」は中学生より高校生の方が比率が高かった。

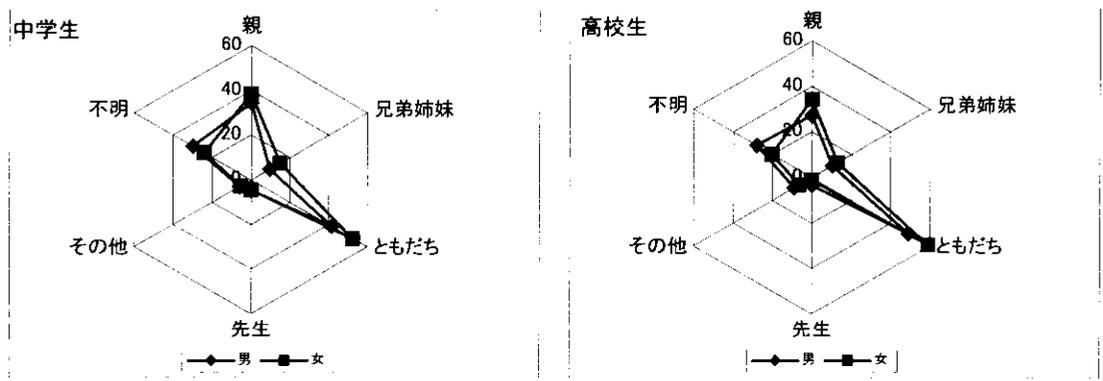
自分のことを理解してくれていると思う人がいますか



16. それは誰ですか。

記述のない者を除くと、「ともだち」が67%、「親」45%、「兄弟姉妹」16%、「先生」約5%となっていた。自分のことを話せる人と比べて、「親」の比率が高くなっており、「先生」もやや高くなっていた。逆に「ともだち」の比率は低くなっていた。

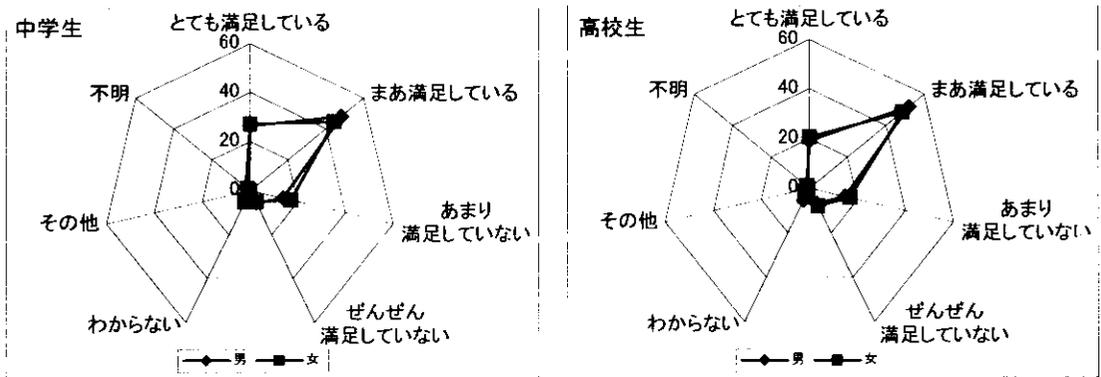
それは誰ですか



17. 自分の家庭環境に満足していますか。(1つだけ選択)

「とても満足している」が23%、「まあ満足している」が49%で、合計70%以上を占めた。「とても満足」は中学生の方が高校生よりも高かった。一方、「あまり満足していない」は約16%、「全然満足していない」は6.5%で、20%以上が家庭環境に不満を持っているという結果だった。

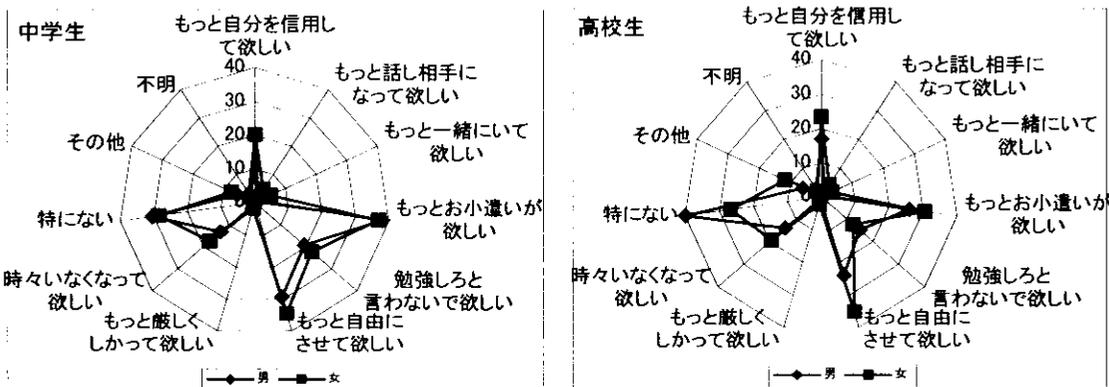
自分の家庭環境に満足していますか



18. お父さんやお母さんに何か望むことがありますか。(複数回答可)

全体では、「特にない」と「もっとおこづかいがほしい」が約33%が高かった。次に「もっと自由にさせてほしい」が30.4%、「もっと自分を信用してほしい」20.2%、「勉強しろと言わないでほしい」17.7%、「時々いなくなってほしい」16%であった。その他の7.5%のうちでは、「もっと仲良くしてほしい」「ケンカしないでほしい」という内容の多いことが注目された。「もっと話し相手になってほしい」や「もっと一緒にいてほしい」などは3%未満で、「もっときびしくしかってほしい」は1.9%と最も低かった。中学生と高校生の比較では、「もっとおこづかいがほしい」と「勉強しろと言わないでほしい」が中学生で多く、高校生は男子において「特にない」が多くなっていった。

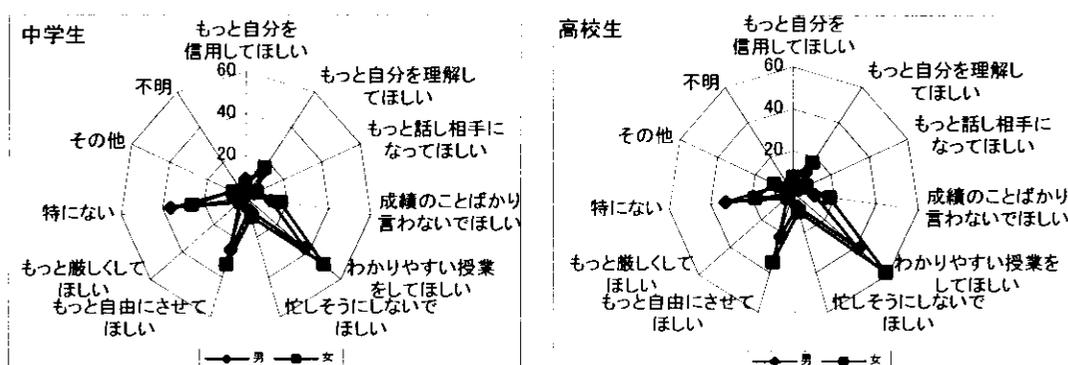
父母に望む事



19. 学校の先生に何か望むことがありますか。(複数回答可)

全体では「わかりやすい授業をしてほしい」が46.4%と高く、次ぎに「特にない」が30%、「もっと自由にさせてほしい」が29%だった。その次は「もっと自分を理解してほしい」14.4%、「成績のことばかり言わないでほしい」13.9%、「忙しそうにしないでほしい」8.3%、「もっと自分を信用してほしい」7.4%、「もっと話し相手になってほしい」5.2%、「もっときびしくしてほしい」3.9%となっていた。その他に記載されたものの中には、「他の生徒と比べないでほしい」「ひいきするな」「自分の機嫌で態度を変えないでほしい」「生徒の好き嫌いをするな」「うるさい」「自分の意見ばかり押しつけないでほしい」などが多かった。中学生と高校生を比較すると、特に高校女子で「わかりやすい授業をしてほしい」が高くなっていったが、他はほとんど変わらなかった。

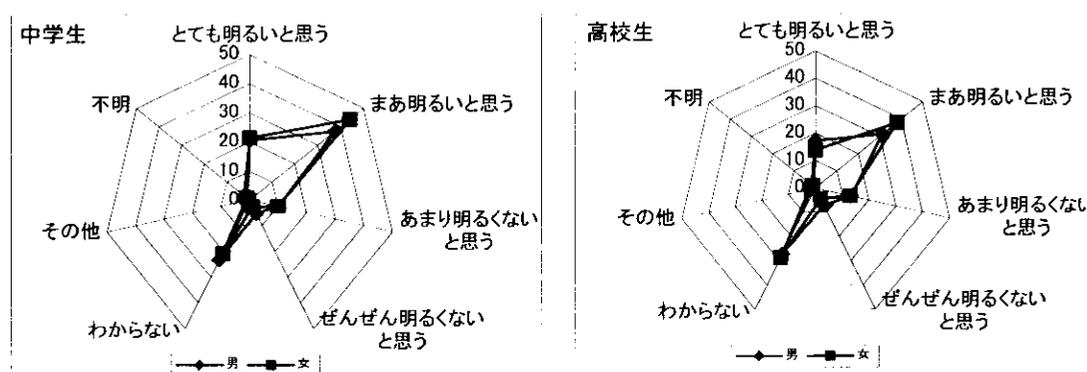
学校の先生に望む事



20. 自分の将来が明るいと思いますか。(1つだけ選択)

「とても明るいと思う」18.8%、「まあ明るいと思う」37.3%で、合計56%が明るいと思っていた。これは中学生の方が高校生よりも高かった。一方、「あまり明るくないと思う」は12%、「全然明るくないと思う」は5.2%だった。また「わからない」も25.5%みられ、高校生でやや高くなっていった。

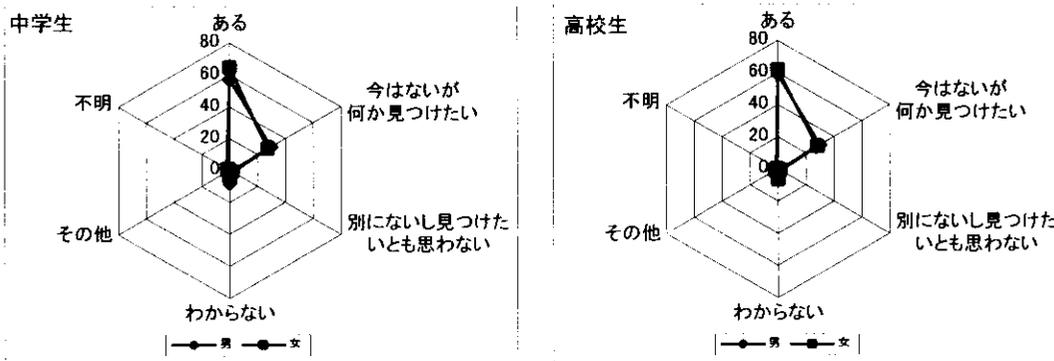
自分の将来は



21. 将来、なにかなりたい職業や目標などがありますか。(1つだけ選択)

全体では、「ある」61.4%、「今はないが、なにか見つけたい」29.2%であった。これは中学生、高校生とも同じ傾向だった。「わからない」は6.6%、「別にないし、見つけたいとも思わない」は1.7%であった。

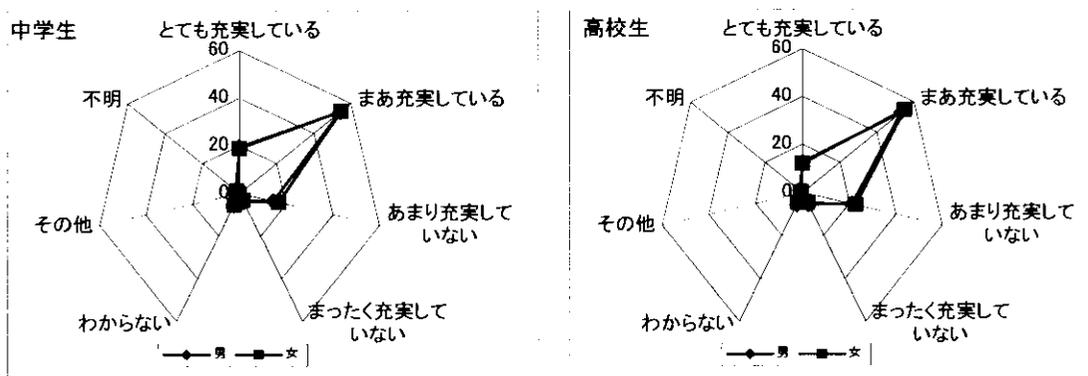
将来希望する職業や目標がありますか



22. 今の生活は充実していますか。(1つだけ選択)

「とても充実している」15.8%、「まあ充実している」55%で、「とても」は少ないが、約70%が大体充実していると感じていた。一方、「あまり充実していない」は19%、「全く充実していない」も4.5%あり、「わからない」が5.5%となっていた。

今の生活は充実していますか

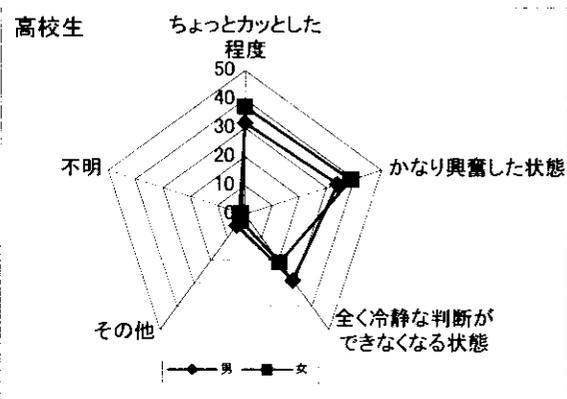
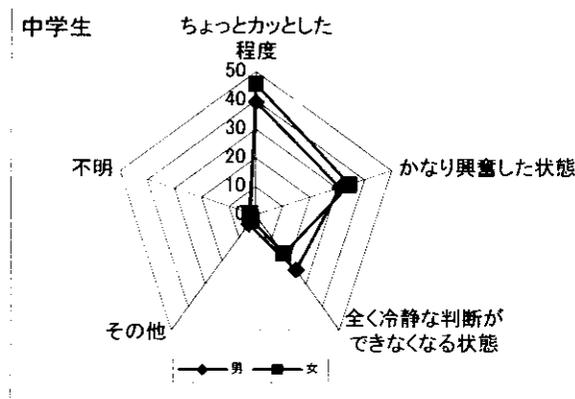


以下は《キレル》ということについての質問

問1. 《キレル》という言葉をごどのような意味で使っていますか。(1つだけ選択)

全体では、「ちょっとカッとした程度という意味で」38.5%、「かなり興奮した状態をさして」35%、「全く冷静な判断ができなくなる状態をさして」24%だった。しかし、「ちょっとカッとした程度という意味で」は中学生に多く、高校生では《キレル》の意味を「かなり興奮した状態をさして」や「全く冷静な判断ができなくなる状態をさして」として使っている割合が高くなっていった。

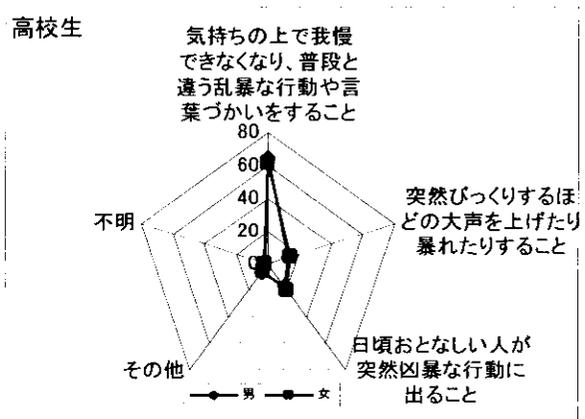
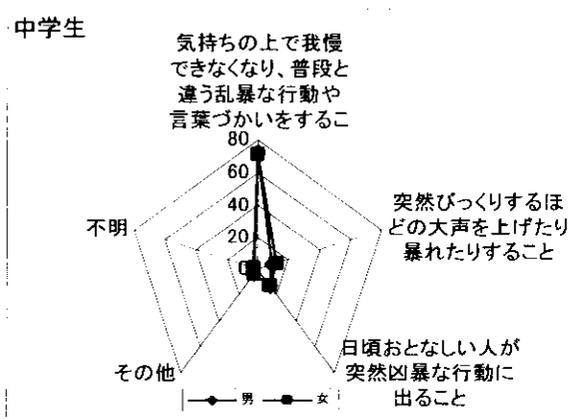
キレルという言葉をごどのような意味で使っていますか



問2. 《キレル》の本当の意味は、ごどのようなことだと思ひますか。(1つだけ選択)

全体では、「気持ちの上で我慢できなくなり、普段と違ふ乱暴な行動や言葉使いをすること」とが69%と約7割を占め、「突然、びっくりするほどの大声をあげたり暴れたりすること」や「日頃おとなしい人が突然凶暴な行動に出ること」は12.2%、15.6%であったが、高校生ではこれらを本当の意味とする率が中学生より高くなっていった。男女差は認められなかった。

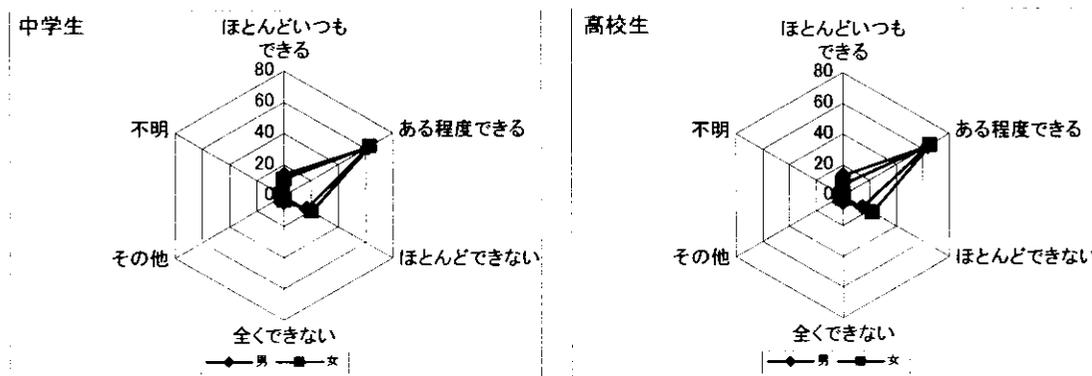
キレルの本当の意味は



問3. あなたは、自分の考えていることをうまく言葉で表現できますか（1つだけ選択）。

全体では、「ほとんどいつもできる」12%、「ある程度できる」64.5%だった。一方、「ほとんどできない」は18.3%、「全くできない」3.6%と、できないと感じている者は22%を占めた。中学・高校生とも同じような傾向だったが、高校生になると、女子において「ほとんどいつもできる」がやや下がり、「ほとんどいつもできない」がやや上がっていた。

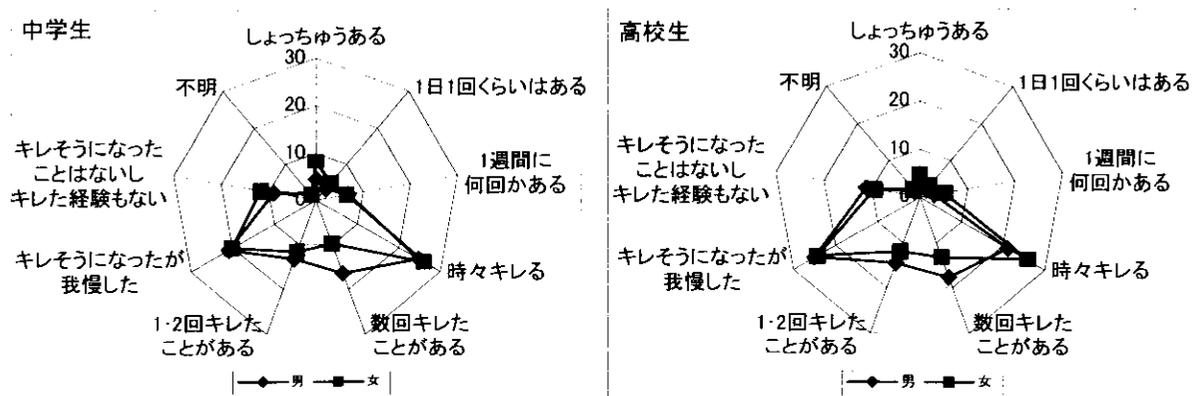
自分の考えている事を上手く言葉で表現できますか



問4. あなたは「キレた」ことがありますか。（1つだけ選択）

全体では、「しょっちゅうある」5.3%、「1日1回くらいはある」3.2%、「1週間に何回かある」5.2%、「時々キレる」24.3%で、これらを《キレ易いグループ》とすると約4割が含まれることになる。「しょっちゅうある」は男子より女子の方が多く、中学生の方が高校生より高い割合だった。また、「数回キレたことがある」は15%、「1、2回キレたことがある」13.2%となっていた。これらに回答した《キレた経験のあるグループ》66.2%には次の質問Aを回答してもらい、「キレそうになったが、がまんした」23.2%には質問Bを回答してもらった。これは中学生より高校生の方が男女共に高い割合だった。また、「キレそうになったことはないし、キレた経験もない」10.6%には質問Cを回答してもらった。

あなたはキレたことがありますか

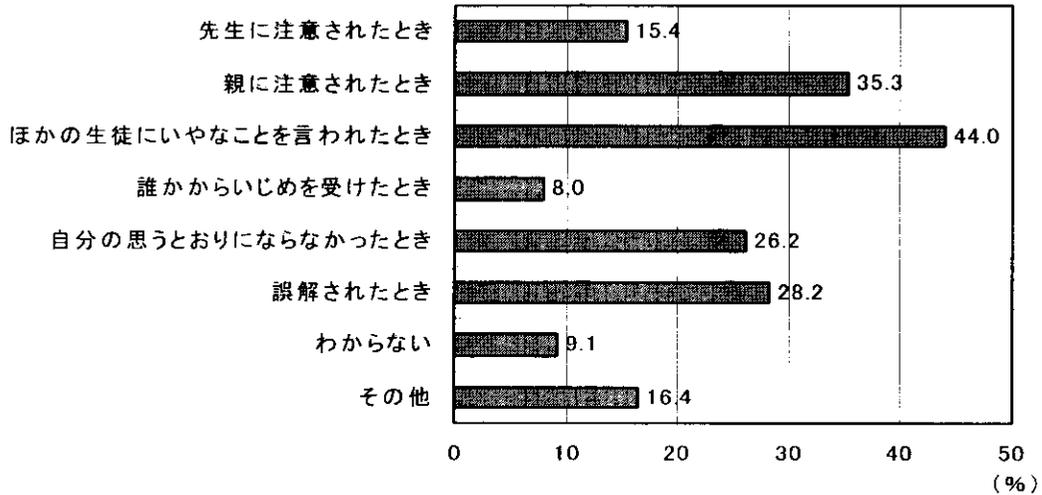


質問A：キレた経験のあるグループの回答

A-1. どんなときにキレた？（複数回答可）

どんな時にキレたか尋ねたところ、「他の生徒に嫌なことをいわれたとき」が44.0%、「親に注意されたとき」35.3%、「誤解されたとき」28.2%、「自分の思うとおりにならなかったとき」が26.2%となった。

どんなときにキレたか



A-2. キレたとき、どうなった？（複数回答可）

「大声で怒鳴った」が34.4%、「相手を見殺した」が27.3%で、叩く・殴るなどの暴力行為は3、4位となっている。

キレた時、どうなったか

